

別記様式第3号（第6条関係）

会 議 記 録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市廃棄物減量等推進審議会		
開催日時	令和6年3月27日(水) 14:00－15:30		
開催場所	近江八幡市役所 4階 第3・4委員会室		
出席者 ※部会長◎	出席者（敬称略） 審議会委員 ◎奥田 哲士 ○和田 有朗 ○水原 詞治 ・丹波 喜徳 ・吉田 栄治 ・大村 啓子 ・高木 敏弘 事務局 環 境 課 課長 中嶋 武志 課長補佐 村岡 亘 主任主事 小崎 竣矢 主 事 西中 克季 主 事 北脇 翔也		
次回開催予定			
問い合わせ先	所属名：市民部 生活環境課 担当者名：小崎 電話番号：0748-36-5509 メールアドレス： 010602@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約した理由	長時間の会議につき、内容を整理したため
内容	◎ごみ量の速報 令和6年2月末速報値を反映し作成。 基本的には目標値をクリアしているが、2月に突発的に最終処分場に廃棄物を持ち込まれているため、その月のみ数値が上がってしまっている。 ○委員からの主な意見 ・毎年とは思うが5.6月が若干多い。そこまで多いわけでは		

ないが、より一層の努力が必要なことは認識したい。

◎食品ロス削減推進計画のアンケートについて

・市役所内の各部署で行っている食品ロスの削減事業をとりまとめて報告。

すべてが埋まった状態で回答をもらえているわけではないが、このアンケートを続けていくことで徐々に精度が上がっていくと考えている。

・市内の食品を扱う事業者に調査を行うためのアンケートのたたき台を作成

用語の解説を加える、記名を任意にする等、食品ロス削減推進計画評価部会で話した内容も反映した。

○委員からの主な意見

・最近では Web でアンケートをとられるものも多いので、QRをつける等して紙と Web の 2 方向で試みてはどうか。

・1 ヶ月あたりの食品廃棄物の量を確認するところで、1 ヶ月で扱っている食品の量を同時に聞いてみてはどうか。

・今後行ってみたいと考える対策で、取り組む予定はないと回答された場合、かっこを作成しその理由を聞くのはどうか。

・回答は複数回答可なのか、1 つを選ぶのか明確にしておいたほうが良いと思う。

・市役所内でのアンケートについて、様々な場所で取り組みをされていると思うので、意識付けという意味ではすべての施設から回答をもらえるようお願いしていくべき。

◎指定ごみ袋に記載するごみ減量デザインについて

令和 7 年度に発注する家庭用ごみ袋にごみ減量のためのメッセージかイラストを記載したい。

小学 4 年生の任意の夏休みの宿題として募集を行うよう関係課と調整済み。記載できる枠は 6 枠。

応募数は見当がつかないが、応募があればこの審議会にて選考を行いたい。

今回の資料として募集要項や選考のポイントを配布した。何か意見、アドバイス等頂戴したい。

○委員からの主な意見

- ・記入されるとき枠は入るのか。個人的には無いほうが良いと思う。

- ・採用されたデザインについては、学校の名前等に入るのか。

→入れない方向で検討中。採用者には賞状等を渡せるようにしたいとは考えている。

- ・採用者へ表彰は行ってあげたい。

- ・何年か分をまとめて印刷される等どのように検討されているか。

→1 年ごとの予算で調達している。毎年毎年の小学 4 年生に募集をかけていくイメージを持って進めている。

- ・募集要項の中に今回使うデザインは今年度に印刷、何枚程度予定等を書けると良いかもしれない。

- ・色は紺色と書かれているが今の現物を見ると紫色のようにも見えるので誤解を招かないように注意が必要。

- ・採用者のデザインを啓発も兼ねて例えば市役所の入ったすぐのところに貼りだすのはどうか。

- ・選考のポイントがいくつかあるので一番大事なものがどれか、重みのつけ方を細かく入れたほうが良いかもしれない。

- ・応募いただいた作品に関してはすべてしっかり見させていただきたい。

◎宴会での調査について

2/14 開催の部会において宴会での食べ残しの削減等について調査を行うことが決定した。

内容は食べ残しの削減を呼びかける 2 種類の三角柱ポップを作成し、その有無でどのような効果がでるか検証する。ポップはそれぞれ 3010 運動を活用したもの、良心に訴えかけるようなものを作成した。

調査を行うことで事業者の実情を確認することや、施策が効果を発揮するかの判断が行える。

調査先の事業者は目処がついており、この会議の後にも協議に向かう。

○委員からの主な意見

- ・ポップを置くだけでは効果が薄く幹事からの呼びかけが無いと厳しいのではないか。

- ・3010 運動の普及は模範として公益の団体が主催する宴会で始めてみると良いのではないか。

- ・今回は、一般の方にポップを置くだけでも効果があるのかを検証し、効果がありそうなら他の店舗、企業にもお願いして、と輪を広げるのも良いかもしれない。

- ・顧客の性別や年齢層も把握できるようにしたい。

- ・企業からしても、食べ残しを減らすということは廃棄物処理の手間も減って処分費を減らすことにつながるので前向きに取り組みたいところかと思う。

- ・食べ物を食べに行くところに、今回の良心に訴えかける側のポップがあるとあまり印象が良くないと感じてしまう。

あくまで調査であるし、廃棄物を減らす、処理費用が減るというメリットを強調していきたい。調査に対してマイナスイメージを持つ事業者が多くいることを理解しておいたほうが良い。

- ・地元で取ったデータというのは今後他のお店等に説明するときにも説得力が出てくると思う。

	<ul style="list-style-type: none">・これは 1 日だけでの調査なのか複数日程で行われる調査なのか。 <p>→複数日程を計画している。</p>
--	---